

防 諜 注 意 せ よ

謝 辞 書

24940/12

62

謹此奉書を私達の最上崇敬信望す 東印度南印  
 總督閣下は是下此御體下事上付持渡すの事  
 和目下我犯答疑者此移送也此利元中将能晴清次  
 の事ニ付す。和夫清次は1945年6月23日味丹地  
 管生に在りし時此地の師團長と此の番佐を同付されし  
 以一年二月に在りし間置在後1948年5月13日  
 元帥閣下並に裁判長閣下御寛大存御仁意と公明致  
 御著議に付此無罪の判決を賜り打御 御座す。夫清次  
 利地ニ移る者の在。和と致すに付。前路。此利元  
 御座す。其後今日に及りて夫清次 歸国を待す。此  
 所ニ在りし時如何に利元閣下御 通信此  
 何れに知るか。和付平書に思ふ事。以下合計(24954/R)  
 と同文の事有略す。...

昭和23年8月12日

敬犯答疑者

能晴清次

是

宛 東印度南印總督閣下